

本校の地震等における「危機管理マニュアル」について

4月14日（木）から発生している「熊本地震」は、未だに余震が続いております。被災者の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

現在、本校においては被災された方々へのお見舞いの気持ちを形にして伝えようと、高山翔生徒会長をはじめとする生徒会本部役員と福祉委員会において募金活動が始めるための話し合いが始められています。

そのような中、18日（月）に開催されましたPTA理事会の席において、渡辺等会長から「3.11から5年が経過して、そろそろ私たちの危機管理意識も薄れてきている。」という内容の挨拶がありました。また、本校の地震等による対応についてのご指摘もいただきました。

そこで、この機会に本校における「危機管理マニュアル」から、生徒自身、また、保護者の皆様にも共通理解しておいていただきたい対応を下記にまとめましたので、どうぞ一読いただくと共に、年間を通して目に付く場所に掲示して有事に備えていただきたいと思います。

重要 《地震災害発生時の対応》 石橋中学校

1 震度5強以上の地震が発生した場合 〈生徒を保護者のもとに返すことを前提に学校は対応します。〉	
登校前の発生	① 自宅（安全な場所）待機とする。 ② 余震等が続く、または、学校施設の損壊など登校時や登校後の危険が予想されると判断した場合は臨時休校とします。その際は学校から保護者宛に電話連絡や「すぐメール」にて連絡をいたします。（連絡がない場合でも、正午までに連絡が無ければ臨時休校と判断してください。） ③ 余震等が沈静化し、通学路や学校施設等に被害がないことが確認できた場合、電話連絡や「すぐメール」にて授業開始時刻の連絡をします。生徒は、必ず学校からの連絡を受けてから登校させるようにしてください。
登下校中	① 生徒は通学路の状況に配慮しつつ、安全な場所で待機する。沈静化した後、学校か自宅か近いところに移動する。 （※日ごろからご家庭において、通学路で地震にあった場合の避難場所等について、家族で話し合っておいてください。）
在校中の発生	① 保護者の迎えによる引き渡しを原則とします。 ※通信手段が確保できない場合においても、下野市発表の震度が「震度5強」以上の時は、保護者や家族の迎えをお願いします。 ② 迎えが困難で引き渡しができない場合、生徒は校内の安全な場所にて待機させます。都合が付き次第、迎えをお願いします。 ※引き渡しの場所は、 <u>1年生が東門、2年生が武道館南門、3年生が校舎北側の正門</u> となります。
※「震度5強」は「下野市」発表の値とします。 （「震度5強」は、市災害対策本部が開設される基準として設定されている値です。） ※NTT災害用伝言ダイヤルにも学校の情報を登録いたしますので、電話が使える場合には、そちらでも情報を確認してください。	
[伝言の再生] ① 1 7 1 にダイヤルする → ガイダンスが流れる ② 2 をプッシュする → ガイダンスが流れる ③ 学校の電話番号を市外局番からダイヤルし、伝言を再生する。 （新しいメッセージから再生される）	

《竜巻、突風等の災害発生時の対応》 石橋中学校

2 竜巻、突風等が発生した場合	
登校前の発生	① 自宅（安全な場所）待機とする。 ② 学校施設の損壊など、登校後の活動が不可能な場合には臨時休校とします。その際は、学校より保護者宛に電話や「すぐメール」にて連絡をします。学校からの連絡がない場合には、竜巻、突風等が過ぎた後、生徒に登校させてください。
登下校中	① 登下校時に発生した場合、生徒は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所(頑丈な家屋など)に避難する。その後、竜巻、突風等が過ぎたことを確認して、学校、又は、自宅の近いところへ移動する。
在校中の発生	① 学校では、被害状況を確認し、活動が続行可能か否かの判断をします。 通常の教育活動が続行不可能と判断した場合、生徒を帰宅させます。保護者には、電話や「すぐメール」にて連絡をします。その場合、保護者の迎えによる引き渡しを原則としますので、迎えをお願いします。 ※引き渡しの場所は、<u>1年生が東門、2年生が武道館南門、3年生が校舎北側の正門</u>となります。
※竜巻や突風等発生時の判断は、目視によるところが大きいため、発生場所近くでの判断が必要となります。また、通過範囲が限定されるため、市内一律ではなく学校毎に、状況を判断して対応することとなっています。	

【注意】

※上記の各対応はあくまでも原則です。学校は生徒の安全を最優先に判断して対応します。

※自然災害では、道路の寸断や液状化、家屋や塀の倒壊、電線の切断、停電など予測もつかない状況が想定されます。

学校においては、年3回の避難訓練時に具体的な指導を行いますが、ご家庭におきましても、常日頃から地域の危険箇所など話し合っておくことが有事の際に生徒の命を守ることに繋がります。

※小学校等に兄弟（姉妹）がいる場合のお迎えは、そちらを優先させてください。